

はねっと

仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

ものづくりの現場から まちづくりに挑む

RED (Render Effect Dawn)

代表 まつなが ゆみ
松永 有未 さん (22)
東北大学 工学部建築科4年生

「大学の授業で行うような仮想空間で建築を創造するだけでなく、実体験が伴った“ものづくり”がしたい」と話すのは、RED代表の松永有未さんです。REDは、東北工業大学のヤギ小屋修繕企画をきっかけに集まり、建築・施工を担う市民団体として2020年3月に始動。中高生のための学習スペースやオンライン作業スペースの施工に携わり汗を流します。REDが掲げる目標は、「ものづくりを通して、自分たちの好奇心と情熱で仙台のまちを面白くする」です。

ものづくりから、まちづくりを実感したのは、「TSUGI」プロジェクトに参加した時のこと。「TSUGI」は、仙台市青葉区五橋の古い集合住宅をリノベーションした、1階にあるコミュニティスペースです。地域とのつながりを作ろうと設けられました。REDが引き受けたのは、スペースの内装や什器製作です。ごみを減らし、豊かなくらしを目指すというプロジェクトに合わせ、古民家で使われなくなった古材を活用。材料の個性を活かしたテーブルや陳列棚をつくりました。「手がけた什器に商品が並び、お客さんが触ってくれた時は、嬉しくて泣きそうでした」と笑います。自分たちが携わった場所に多くの人を訪れ、地域に新たな魅力が生まれるのを目の当たりにできました。

現在、大学4年の松永さん。大学卒業後は都市の開発に携わりながら、REDの活動を続けていこうです。これからも、まちを面白くするために力を尽くします。



建築・施工団体 RED (Render Effect Dawn)

東北工業大学、東北大学、仙台高等専門学校の学生7人による市民団体です。団体名は、チームカラーでもある情熱の赤と、Render Effect Dawnの頭文字から取りました。「ものづくりを通じて、誰かの、はじまりの一步を後押しできる存在でありたい」という決意が込められています。





市民活動突撃レポート！

一般社団法人仙台eスポーツ協会 共同代表理事 高谷 将宏さん

たかや まさひろ

誰もが一緒に楽しめる「eスポーツ」でまちを盛り上げる

「eスポーツ」とは、エレクトロニック・スポーツの略で、ビデオゲームを使った競技をスポーツとして捉える際の名称です。使用されるビデオゲームの種類は、パズル、格闘、サッカー、野球、シューティングなど様々です。一般社団法人仙台eスポーツ協会は、県内で多くの人にeスポーツの魅力を知ってもらうための体験会や大会を開催しています。eスポーツの魅力の一つは、障がいの有無、年齢、性別に関わらず、誰もが同じフィールドでプレイできることです。海外では大会による経済効果も生まれています。共同代表理事の高谷将宏さんは、「eスポーツの可能性を模索し、地域の企業や教育機関と共にイベント・製品開発に取り組むことで、県内に新たな市場をつくりたい」と話します。

2020年10・11月には、障がい者を対象としたeスポーツの体験教室を実施。自閉症や肢体不自由の人など約15人が参加しました。ゲームは得意なもの、いつも家で一人プレイしていたという人から

は「みんなで一緒にできることや、自分を見てもらえることがうれしい」との声がありました。

右手に麻痺がある人は、はじめはうまく操作ができませんでしたが、コントローラー設定を変えることで楽しめるように。高谷さんは「eスポーツは、ゲーム自体の楽しさはもちろん、人とのコミュニケーションの機会を得られたり、達成感を感じられたりするツールでもある。学習障がい者の勉強をサポートするためのソフト開発など、より研究が進むよう盛り上げたい」と語ります。



写真提供：仙台デザイン&テクノロジー専門学校

一般社団法人 仙台eスポーツ協会

HP <https://sesa.or.jp/>



活動現場から、「このたびカタチになりました」

マンガで読む家族の対応 もしあなたの大切な人が薬物を使ったら…

薬物依存症への理解を広げようと、NPO法人全国薬物依存症者家族会連合会がマンガ冊子を発行しました。薬物依存に悩む子どもとその家族の心情を細かく描きながら、問題解決への糸口を示してくれます。全国の家族会の連絡先も掲載。仙台の家族会は「誰にも言えずに悩んでいる方は、安心して相談してほしい。秘密厳守で通報されることはありません」と呼び掛けています。

●マンガ冊子はサポセン館内で配布の他、団体ホームページからダウンロード

も可能

●仙台家族会

TEL:080-9635-6415



サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

クジラのおなかからプラスチック

今、クジラがプラスチックの袋をたくさん飲み込んで死んでしまうという事態が起きているほど、プラスチックによる海洋汚染が広がっています。サイエンスライターによって著された本書では、プラスチックとはいったいなんなのか、どう環境問題を引き起こしているかを詳しく解説しています。子どもにもわかりやすい語り口調で、挿絵や図表を多用しながら問題の深刻さを伝えており、子どもから大人まで幅広い世代に有益な内容です。

著者 保坂 直紀
発行所 旬報社



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。

「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 1月13日(水)、27日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00
日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

[ツイッター] @SCSC4CA

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。
ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者：特定非営利活動法人せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2021年1月4日

デザイン PEACE Inc.

「ばれっと」紙面についてのお知らせ

新型コロナウイルスの影響により、社会情勢の変化が著しい中、市民活動の現場で起こっている状況に柔軟に対応するため、2020年7月号より紙面構成を変更しています。引き続きご愛読よろしく申し上げます。